

## <閣僚宣言の主なポイント>

### ①産業における AI と新興技術

- AI の開発、展開及び利用に必要な意識及び技能を向上させるために、企業、特に中小零細企業のための訓練及び労働力開発の重要性を認識。中小零細企業における AI 導入と開発の推進要因及び課題の分析に関する報告書を本年末までに作成するという議長国提案を支持。

### ②安全で強靱なネットワーク、サプライチェーン及び主要な投入要素

- イタリア議長国の下、Open RAN の現段階での導入が進展していることに鑑み、オープンな構成及びセキュリティに関連する側面と可能性について意見交換を継続して実施。
- 安全な接続性の価値が高まっている点に鑑み、特に、海底ケーブルの重要性を改めて強調。そのために、保守・修理を含め、安全な海底ケーブルネットワークのためのサプライチェーンリスクについて議論を深めていくことを確認。
- 衛星や HAPS 等の複層的な ICT ネットワークを通じて冗長性を構築することに注力する中で非地上系ネットワークが安全で強靱な ICT エコシステムの重要な要素であることを認識。

### ③デジタル開発—共に成長

- 地域社会の文化的・言語的多様性を反映した AI モデルの重要性を認識。イタリア議長国が、持続可能な開発のための AI ハブの提案を含め、2024 年に特にアフリカに焦点を当て、途上国とのマルチステークホルダー・コラボレーションを支援するメカニズム、フォーラム、ツールの特定に向けて継続的にアイデアを収集。

### ④公共部門における AI

- G7 メンバーが自国の公的セクターが AI システムに対応できるようにする必要性を認識し、年末までに、公的セクターにおける AI の安全、安心で、信頼できる開発、展開、利用のためのオープンで実現可能な環境を示すツールキットの開発を目指す。政府による安全、安心で信頼できる AI 開発を支援するため、公的部門データの役割を検討することを確認。

### ⑤広島 AI プロセスの成果の前進

- G7 が、主要なパートナー国や企業等からの認知及び支持の拡大等を通じて、今後も広島 AI プロセスの成果を前進させることに引き続きコミットすることを確認。また、開発途上国・新興経済国を含む主要なパートナー国や組織における広島 AI プロセス国際指針及び国際行動規範の普及、採択、適用を促進するための次のアクションを歓迎。
  - 広島プロセス国際指針及び国際行動規範の普及を促進し、主要なパートナー国や企業等の関与を拡大
  - 国際行動規範に自主的にコミットする組織による当該規範の履行状況をモニタリングするための適切なツール及びメカニズムの特定・開発・導入
  - OECD、GPAI、UNESCO とプロジェクトベースの協力を継続し、偽情報や透明性の確保等、高度 AI システムに関連する課題への対策や実践を模索

### ⑥デジタル政府

- G7 各国におけるデジタル政府サービスを整理した大綱を作成し、G7 各国のデジタル ID 政策へのアプローチのマッピングを実施。